

5 普及指導計画に基づく調査研究

カラマツ高齢林分における病虫獣害の実態調査

担当科名：普及指導員室

研究期間：平成19年度～20年度

区分：調査研究

研究目的

森林の持つ多面的な機能を高度に発揮させるための施業の一つとして長伐期施業を推進しているが、長伐期施業の実施には長期間に及び健全な成長が不可欠である。しかし、カラマツ高齢人工林では健全な成長の障害となる腐朽被害など病虫獣害が発生している中、民有林においては実態調査があまりなされていない状況にあるため、早急に被害実態とその発生要因を調査する必要がある。

このことから、民有林のカラマツ高齢林分における病虫獣害の実態とその発生要因を明らかにし、長伐期施業の技術指導に活用する。

研究方法（調査地概要や調査方法）

調査地や材料について

十勝、網走東部、上川南部、空知、胆振東部
地方カラマツ40年生以上の皆伐、帯状、孔状
伐採跡地

調査項目や分析方法について

根株腐朽の大きさと個数、キズ・野ネズミに
よる食害の有無、地況調査、施業経歴など

平成19年度の研究成果

調査概要

調査地域	18年度	19年度	20年度予定	計
空知地域	2	11	3	14
上川南部	3	4	4	11
網走東部	6	4	0	10
胆振東部	0	5	5	10
十勝地域	2	7	3	12
計	13	31	15	57

平成19年度に調査した概要
について

○調査箇所数は、対象地域
31箇所を実施した。

○被害断面積率・腐朽伐根
の断面積率(%)とも、平均値
は地位が低いほど大きい傾
向にある。

○最大値は被害断面積率・
腐朽伐根の断面積率(%)とも
地位が低いほど大きい傾向
である。また最小値は、傾
向がみられない。
※この傾向は、19年調査の集
計である。

○地位は、森林計画課の資
料により判定した。

結果取りまとめ概要

地位（森林計画課コード表）による中間集計

地位	被害断面積率(%)	腐朽伐根の断面積率(%)
1 11カ所	0.1～4.7（平均1.5）	1.0～10.3（平均5.9）
2 9カ所	0.6～7.1（平均2.4）	3.7～20.0（平均8.4）
3 11カ所	0～7.7（平均3.4）	0.3～27.9（平均13.8）

研究成果の公表（文献紹介や特許など）